

おめでとうございます!

なまえ しげる

生江 茂さんが「旭日単光章」を受章されました!

元町議会議員の生江茂さんが、2月1日付けで、高齢者叙勲「旭日単光章」を受章されました。

生江さんは昭和59年から平成8年まで、3期12年のながきにわたり在職し、豊富な経験と卓抜なる識見をもって町の発展のためにご尽力されました。

3月26日に町長室で、ご本人に勲章が伝達され、「まだまだ元気に過ごし、これからも明るく、いい社会になることをご祈念申し上げまして、御礼申し上げます。」と話されました。

これからもますますのご活躍をご祈念いたします。
※旭日単光章は、各分野で顕著な功績のあった方で、基準を満たす方に贈られるものです。

齋藤町長の

スマイルトーク

新たな一歩



なにかと慌ただしい3月4月も過ぎ、新緑のさわやかな5月を迎えます。この春に進学や就職等で新生活をスタートした方も新たな生活に慣れてきた頃でしょうか。人生には多くのターニングポイントがあり、その中で希望や不安、夢や現実など、様々な考えや想いを持って新たな環境にその一歩を踏み出すことと思います。

まちづくりにおいても、町民一人ひとりの町に対する様々な考えや想いを受け止めながら、町民皆さんと一緒に今後まちづくりを考えていきたいと思えます。

これから町は「第六次会津坂下町振興計画」の策定作業に入り、今後のまちづくりへの一歩を踏み出します。町民の皆さんはもとより、町を離れた方々にも「やっぱり坂下がいいね」と思い出しただけのまちづくりを目指します。

また、場所や立場は変わってもまちづくりに携わっていただきたいとの願いを込めて、新たな一歩を踏み出した皆さんへエールを送ります。一緒にがんばりましょう。

平成29年度会津坂下町民憲章推進章贈呈式を開催

6団体、1名が会津坂下町民憲章推進章を受賞

3月9日、会津坂下町民憲章推進章の贈呈式が行われ、「会津坂下町民憲章」の推進にふさわしい活動をされた個人および団体へ贈呈されました。

受賞者(敬称略)【受賞理由】

- 坂下スポーツ民踊協会
【文化の継承(坂下音頭等)・福祉施設訪問ボランティア活動】
- 上金沢少年少女火防団
【地域防火思想の啓蒙活動】
- 成田 嘉孝
【姉妹校との交流による国際交流振興のためのボランティア活動】
- 坂下東小学校合唱部
【合唱を通じた地域貢献活動】
- 船窪有志会
【総合学習における指導ボランティア活動(米作り体験)】

- 坂下南小学校図書ボランティア
【図書ボランティア活動】
- 会津坂下町商工会青年部
【地域経済活性化活動】



※会津坂下町民憲章とは

町民が心を合わせて、明るく、住みよい町づくりを積極的に進めるための道しるべとして、町制施行30周年を記念して制定されました。「自然」「福祉」「健康と活力」「きまり」「文化」の5つの柱で形成されています。

会津坂下町教育委員会教育長が就任しました

さとう しずか 佐藤 玄 教育長 退任のあいさつ

この度、町教育委員会教育長を退任いたしました。町民の皆さま方には公私ともに格別のご支援をいただき、私自身やりがいをもって任に当たらせていただきましたことに対し、心より感謝と御礼を申し上げます。

在任中は教育施設適正配置事業や、子育て、幼児教育などの教育関連事業がありましたが、町民の皆様方の温かいご理解をいただき事業展開がなされたものと思っております。

「子育て支援日本一」を目指す会津坂下町において、保育所や小規模保育施設（認可施設）から中学校にいたるまで、一貫性をもった体制が確立したことは誇れるものだと考えております。今後は、この体制を十分活かし着実に教育成果を上げていくことが町民の皆さま方の期待するところであると思っております。

おわりに会津坂下町の教育のますますの充実と、限りない発展をご祈念し退任のあいさつといたします。大変お世話になりました。



平成23年10月より
6年6か月お勤めいただきました。



すずき しげお 鈴木 茂雄 新教育長 就任のあいさつ



3月まで坂下東小学校長として
勤務されました。

会津坂下町では、教育施設適正配置事業が完了し、幼稚園から中学校までの12年間を見通した教育体制が整い、現在「1つの学園構想」による一貫性・継続性・共通性を意識した「育ち」と「学び」をつなぐ教育を推進しているところです。

今後、町幼児教育振興ビジョンや町教育振興基本計画に基づき、子育て支援や幼児からの教育、社会教育や生涯学習、文化や芸術の振興に関する総合的な施策を着実に推進していきたいと考えております。

微力ではありますが、教育行政を通して町振興の一翼を担いたいと思っておりますので、町民の皆さまにはご支援ご協力くださいますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。



▲生産者の方との給食

牛丼のお祝いメニュー▶



黒毛和牛の肉を給食にご提供いただきました!

JA 会津よつば みどり地区和牛部会様 85kgを寄贈

JA 会津よつばみどり地区和牛部会様より黒毛和牛の肉85kgを幼稚園、小中学校の給食の材料としてご提供いただきました。「子どもたちに美味しい地元の牛肉を食べさせてあげたい。」との思いから始まったこの取り組みは、今年で13年目を迎えました。

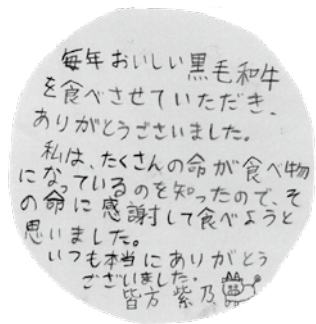
牛肉は卒園・卒業お祝い献立の牛丼にして、生産者の方々と一緒に美味しくいただきました。子どもたちからは、感謝の手紙が贈られました。

▼感謝の手紙

おいしい牛肉ありがとうございました
 先日は、黒毛和牛を給食にいただいた
 いただき、ありがとうございました。
 お肉のジューシーさと、やわらかさ、そして、肉汁が
 たくさん乗っている言葉に出来ないほどのす
 ごくおいしかったです。
 ぼくは、肉が女子みなので、食べてる時は、天
 国にいるような感じでした。
 牛を育てる人が愛情こめて育てた牛を食べ
 ていいのかなあと、最後に食べる時は、少し心配
 になりました。
 でも、その牛肉は残さず食べました
 とてもおいしかったです。



坂下東小学校
 5年 岩沢巧真より



鈴木 宰・田辺 洋道・大竹 秀弥・渡部 晃一・鈴木 愛菜

会津坂下町 新規採用職員入庁!

4月2日より働き始めた5名の新戦力を紹介します。

- 子ども課 子ども支援班 **鈴木 宰** (新栄町)
 仕事に早く慣れ、町のために貢献したいと思います。
- 生活課 保険年金班 **田辺 洋道** (気多宮)
 皆さんのお役に立てるよう、業務を学んで参ります。
- 産業課 商工観光班 **大竹 秀弥** (和 泉)
 町民の皆さんに貢献できるよう誠心誠意尽力します。
- 建設課 都市土木班 **渡部 晃一** (諏訪町)
 皆さまの信頼を得られるような仕事をして参ります。
- 生活課 保険年金班 **鈴木 愛菜** (船 窪)
 町民の皆さまと同じ目線を大切に行動していきます。



会津坂下町消防団が消防庁長官表彰を受章

かんとうじゆ
竿 頭 綬 授 与 の 報 告 で 町 消 防 団 長 ・ 消 防 署 長 が 来 庁

会津坂下町消防団は、昨年の朝立地区火災での消防・人名救助活動での功績が認められ、国技館で開催された自治体消防制度70周年記念式典において消防庁長官表彰を受けました。山内真一団長と会津坂下消防署芳賀利幸署長は、「日頃の訓練が役立ちました。けが人なく、火災を鎮火することができ消防団員に大変感謝しています。」と述べられました。

心を豊かに 食で育む ばんげまち からだを元気に

会津坂下町食育推進計画が新しくなりました

平成30年3月に「第3次会津坂下町食育推進計画」が策定されました。食は、心とからだの栄養となる私たちにとって欠かせないものです。本計画は、『心を豊かにからだを元気に食で育むばんげまち』をスローガンとし、生きる上での基本となる食について、町民一人ひとりが楽しみながら、健康を意識した食習慣が実践できるような食環境づくりに力を入れていきます。

今後の食育だよりでは新たなスローガンを掲げ、食に関する情報を発信していきます。

＜現状と今後の方向性＞

家族形態や就労形態などの多様化により、家族や地域とのつながりが希薄になり、食を通じたコミュニケーションが不足し食文化の継承が難しくなっています。今後は、食への関心を高める機会を増やし、地域で健康づくりを支援できるような環境づくりに取り組んでいきます。

＜重点施策＞

- ①次世代を担う子どもたちが健康で楽しく『食』への理解を深める環境を整備します。
- ②会津坂下町の地場産物を知り、安心・安全な食の継承に努めます。



家族の団らんを楽しもう！

～会津坂下町商工会女性部の食育活動のご紹介～

商工会女性部では毎年、料理教室を開催しています。

今回は「家族の絆を深めよう！」をテーマに、「作って楽しい」「見てかわいい」「食べておいしい」飾り巻き寿司にチャレンジしました。

女性部の皆さんは、すし飯に色を付ける食材が梅や桜でんぶ、魚卵などの天然食材であることに感心しながら、難易度の高い「おひなさま」や「桜の木」も美しい色と絵柄が出るよう丁寧に仕上げていきました。

「家族みんなで作って食べることは、家族の会話を弾ませ、食べ物のおいしさをより感じられるなど、素晴らしい効果がありますよ。ぜひ、皆さんのご家庭でも家族で楽しみながら作ったご飯で食卓を囲んでみてはいかがでしょうか？」(商工会女性部 部長 目黒 留美子さん)

商工会女性部は今後も食育活動を行っていきます。部員外の方も料理講習を受ける事ができます。
問 会津坂下町商工会女性部事務局 ☎ 83-3139



桜の木の飾り巻き寿司レシピは町フェスタブックにて公開中！！

町フェスタブック QRコード



1、すし飯は分量を量って、まとめておきます。



2、順番に重ねていくと…なんだか形になって来た！



3、こ、これはもはやっ！！



4、かわいらしい、おひな様が出来上がりました！！

認定農業者会より
～5月出荷予定の野菜～

さやえんどう、アスパラ、きゅうり、小松菜



新着本の紹介

<p>『会津の文人たち』</p>  <p>一般書</p> <p>笹川壽夫／著 歴史春秋社</p>	<p>『夢を生きる』</p>  <p>一般書</p> <p>羽生結弦／著 中央公論新社</p>
<p>『竹林精舎』</p>  <p>一般書</p> <p>玄侑宗久／著 朝日新聞出版</p>	<p>『机の前に貼る一行』</p>  <p>児童書</p> <p>ひきたよしあき／著 朝日学生新聞社</p>
<p>『リメンバー・ミー』 (ディズニーアニメ小説版)</p>  <p>児童書</p> <p>アンジェラ・セルバンドス／作 偕成社</p>	<p>『たくさんのだア』</p>  <p>絵本</p> <p>アリスン・マギー／文 主婦の友社</p>

社会教育委員五十嵐近子さんが選んだ
わたしがオススメする1冊



『おおどしのきやく』
：日本の昔話
(こどものとも；2012年1月号)
五十嵐七重／再話、
二俣英五郎／絵
福音館書店

数多くの本の中から私が選んだ本は、友人であり語り部でも有名な五十嵐七重さんが、奥会津の語り口で語った「おおどしのきやく」という絵本です。“おおどし”とは大晦日のことです。福の神のお坊さんと優しいおじいさんおばあさん、貧乏神のお坊さんと欲ばりなおじいさんおばあさんのコミカルな会話が展開され、とても楽しく読むことができます。日常のさまざまなできごとから生まれ伝えられてきた昔話は、私たちにいかに生きるかを示してくれます。そして挿絵の二俣英五郎さんの描く昔話の世界は、リアリティーを持ってその世界を見せてくれます。深深と降る雪の大晦日、本当に誰かが訪ねてきそうな…。そして、人に優しく正直に暮していかねばと思わせる1冊です。

町史編さん

調査余話 (11)

【半檀家】 (二)

前月号で、江戸時代に一家一檀家制度が確立する過程の「半檀家」をしめす、矢ノ目に伝わる延宝二年(二六七四)の資料を紹介しましたが、

伊南村(現南会津町)小塩に残る享保十八年(一七三三)と、宝暦二、三、四年(一七五二、五三、五四)の宗旨改人別家別帳(家ごとに家族の数・性別・続柄・年齢と属するお寺を示した資料。以下、宗門帳)にも同様の記載があります。

嫁いだ嫁ばかりでなく、子供が女の子に限り母親と同じ寺の檀家になる、という例です。

「宝暦四年戊三月 乍恐書付以奉願候御事」(南郷村・酒井一家文書)には、家族が別々の寺の檀家(半檀家)では紛らわしく、寺と寺の間に争いや宗門帳への誤記入などで多くに迷惑をかけることになるので、これからは婚姻先の家の寺に属することに改めたいと願

い出たことが書かれています。寺側では維持運営のために檀家は多

いことに越したことはありませんので、減らすまいとする結果、寺同士の争いにも繋がりました。

結果、「宝暦五乙亥年三月 宗旨帳一組不残家主附二改指上候」(伊南村・善導寺文書)と、宝暦五年以降は、家族は揃って家主と同じ寺の檀家になり、宗門帳も一家一檀家制に改まっています。

新潟県の江戸時代の資料である「越後風俗志」には、逆に半檀家が多くなったことが書かれています。

その理由として、「宗門帳には檀那寺の押印が厳格に要求されるため、普段から寺への布施や奉仕を怠ったり文句をいう家には、葬式の日時を延期したり、子女の婚姻にも寺に詫びを入れたまで寺請状を出さなかったということが享保の頃(一七一六〜三五)に流行したと聞いている。」とあります。

新潟県では、禁制のキリシタンでないことを証明する寺側の権限が強く働いていたことがわかります。

▼問い合わせ

町史編さん室 ☎ 83-3010